

様式（第5条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第1回行田市日本遺産推進協議会
開 催 日 時	令和8年3月5日（木） 開会：午後1時30分 ～ 閉会：午前3時00分
開 催 場 所	行田市産業文化会館2階2A2B会議室
出席者（委員） 氏 名	行田邦子（会長）・渡辺充・細井保雄・山本栄治（間宮委員代理）・富山紀和・小林秀樹・福島伸悦・日向野博子・橋本勝（坂本委員代理）・北木裕・柳澤智（野中委員代理）・岸幹夫（高柳委員代理）・
欠席者（委員） 氏 名	岡田則之
出 席 者 （オブザーバー） 氏 名	行田青年会議所：小林直人 NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク：朽木宏 NPO法人魅力創造倶楽部：町田光
欠 席 者 （オブザーバー） 氏 名	行田商工会議所青年部：宮浦将 ものづくり大学：田尻要 NPO法人行田観光物産会：戸塚昌利
事 務 局	生涯学習部長：長島浩司 参事兼企画政策課長事務取扱：川上清 商工観光課長：横山敦亮 商工観光課副参事：吉田秀和 都市計画課主任：秋田直美（金子都市計画課長代理） 教育指導課長：嶋村理彦 郷土博物館：篠田泰輔（鈴木郷土博物館長代理） 文化財保護課長：酒井春彦（司会）/ 文化財保護課主査：浅見貴子 文化財保護課主任：中島洋一 文化財保護課主事：持田萌々子
会 議 内 容	別紙会議録のとおり

<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 行田市日本遺産推進協議会委員・オブザーバー名簿 ・ 行田市日本遺産推進協議会規約・行田市日本遺産推進協議会組織図 ・ 資料 1 令和 8 年度以降の総括評価・継続審査にあたっての地域活性化計画等の改善について ・ 資料 2 日本遺産構成文化財の変更申請について ・ 資料 3 今年度の取組状況 ・ 資料 4 令和 8 年度 of 取組
<p>その他必要事項</p>	<p>傍聴人 森安正</p>

発 言 者	会 議 の 経 過 (議題・発言内容・結論等)
司会	<p>1. 開 会</p> <p>本日は、委員13名中12名にご出席をいただいていることから、本会議は成立している。</p> <p>なお、東日本旅客鉄道株式会社から出席していただいていた熊谷氏の人事異動に伴い、新たに日向野様に委員をお引き受けいただき、本日付けで委嘱状を交付させていただいた。</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議事 (規約により会長が議長となる)</p> <p>議事に入る前に、この会議の運営について御了承いただきたい点を2点説明する。</p> <p>1点目として、本日の会議は、協議会規約第10条第5項に基づき、公開とさせていただきます。</p> <p>2点目として、本会議の内容は、要点筆記で記録し、後日ホームページで公開させていただきます。</p> <p>それでは、議事に移らせていただく。議事については、協議会規約に基づき、行田会長に議事の進行をお願いする。</p>
議長	<p>(1) 日本遺産認定継続審査の実施時期の変更について</p> <p>それでは暫時、議長の職を務めさせていただきます。</p>
事務局	<p>はじめに、議事の(1)「日本遺産認定継続審査の実施時期の変更について」事務局より説明する。</p> <p>(資料1に基づき説明)</p>
議長	<p>ただいまの説明について、御意見等はあるか。</p>
議長	<p><意見なし></p>
議長	<p>それでは事務局の説明を了承いただいたということで、議事を進めさせていただきます。</p>

	<p>(2) 日本遺産の認定内容変更申請について 次に、議事の(2)「日本遺産の認定内容変更申請について」事務局より説明する。</p>
事務局	(資料2に基づき説明)
議長	ただいまの説明について、御意見や確認事項等はあるか。
	＜意見・質問事項等なし＞
議長	それでは事務局の説明を了承いただいたということで、議事を進めさせていただきます。
	<p>(3) 今年度の取組状況について 次に(3)「今年度の取組状況について」事務局より説明する。</p>
事務局	(資料3に基づき説明)
議長	ただいまの説明について、御意見や確認事項等はあるか。
福島委員	6ページの普及啓発事業「(3) 忍城下を「電動キックボード」で巡る歴史探訪ガイドモニターツアー」の電動キックボードについて、若い人は馴染みがあると思うが、今後電動キックボードの(追加)設置は考えているのか。
事務局	<p>電動キックボードについては、交通における安全性の課題があり、レンタサイクルのように各施設に配置し、皆さんに使っていただくという形は現状難しい。</p> <p>そのためツアーでの活用を図りつつ、今後については警察等と協議をしながら、追加の取組について検討していきたい。</p>
福島委員	都内では結構使われているので、本市にもあってもいいのではないかと思う。
事務局	電動キックボードのツアーの実施については、行田おもてなし観光局の富山事務局が主体となって進めていただいている。

議長	<p>ただ、警察の指導があることもあり、協議しながら幅広い活用に向けて進めていきたい。</p> <p>他に御意見等はあるか。</p> <p style="text-align: center;">＜意見なし＞</p>
議長	<p>御意見がないようなので、事務局の説明を了承いただいたということで、議事を進めさせていただきます。</p> <p>(4) 令和8年度取組について 次に、議事(4)の「令和8年度取組について」事務局より説明する。</p>
事務局	<p>(資料4に基づき説明)</p>
議長	<p>ただいまの説明について、御意見や確認事項等はあるか。</p> <p style="text-align: center;">＜意見無し＞</p>
議長	<p>御意見がないようなので、事務局の説明を了承いただいたことにさせていただきます。</p> <p>本日、皆様からいただきました御意見については、今後の日本遺産事業や本協議会の運営に活かしていく。</p> <p>以上をもって本日の議事は終了となる。これにて議長の職を解かせていただく。</p>
司会	<p>4. その他</p> <p>(1) 構成文化財所有者 森氏の意見発表</p> <p>本日は、日本遺産構成文化財所有者の森様より、日本遺産に関わる意見を申し上げたいとの要望があったため、意見発表の場を設定した。それでは森様に発言していただく。</p>
森氏	<p>①初午について</p> <p>初午も日本遺産構成文化財に含まれており、足袋蔵との関係も深い。初午祭りも日本遺産の一部として盛り上げて欲しい。</p>

	<p>②蔵主会議について 蔵を残していくために、修理業者や職人を紹介して欲しい。蔵の活用についても、他の蔵主の意見を聞きたい。このままでは、数十年で蔵がなくなってしまう。</p> <p>③蔵の活用について 自分の家の場合、中庭、蔵、屋敷稲荷が明治時代から残っている。足袋屋としてのしつらえを皆さんに見ていただきたいと考え整備をした。他の蔵についても、活用・案内の仕方を工夫するべきだと考える。</p> <p>④日本遺産の認定を受けられなくても、足袋蔵は守られるのか 日本遺産の認定を取り消された場合も、行田の誇りとして足袋蔵を守っていつてもらえるのか検討していただきたい。</p> <p>⑤花手水、旧忍125号国道の景観（わらべ銅人形）と一体となった整備について まち全体の雰囲気、面として色々考えていただきたい。</p> <p>⑥日本遺産カードについて カードを使って、皆さんに親しんでいただいて、構成文化財について知ってもらえるように活用していただきたい。</p> <p>①～⑥の他に、うなぎ屋、足袋祭り、足袋型スカイランタン、足袋の自動販売機の復活等、行田に来た人をより楽しませられるような工夫を望む。</p> <p>司会 ただいまの発言について、御意見や確認事項等はあるか。</p> <p style="text-align: center;">＜意見無し＞</p> <p>事務局 事務局より今いただいた御意見に対して、何点か所感を回答させていただきます。</p> <p>①初午祭りについて 日本遺産構成文化財としているものの、各家々でやっている</p>
--	---

朽木氏	<p>ということが見えづらい現状はある。文化庁はストーリーの深掘りも重要視しているため、今後は日本遺産や市のホームページで発信していきたい。</p> <p>②蔵主会議について NPO 法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークでそういった取組みをしており、当市としても蔵主の意見を吸い上げるようにしているが、不足している部分もあると思う。改めて蔵主の皆様の意見を伺いながら、検討していきたい。</p> <p>蔵の修繕については、市の取組みとしてふるさとづくり事業があるが、その他にもものづくり大学との連携なども検討し、各種ご要望に対応出来るようにしていきたい。</p> <p>③日本遺産の認定を受けられなくても、足袋蔵は守られるのか。について 日本遺産の認定継続に向けて最大限の努力をしていきたい。 行田市には様々な歴史的資産がある。足袋蔵もその一つであり、後世に残していきたいと文化財保護課としては考えている。それには蔵主様のご協力も必要であり、問題や課題を共有し、共に考えてまいりたい。</p> <p>⑤花手水、旧忍125号国道の景観（わらべ銅人形）と一体となった整備について 今後関係各所と連携を図りながら、検討していきたい。</p> <p>⑥日本遺産カードについて 施設を見学したら手に入れられるといった取組みをしているが、カードが不足していたり、事業連携が希薄であったりするため、存在感が発揮出来ていないと考えるところはある。 今後は、日本遺産カードの特徴を活かせる取り組みを進めていきたい。</p> <p>改めて皆様からご意見等はあるか。</p> <p>土壁を直したいとのことだが、ものづくり大学では三原研究</p>
-----	--

<p>富山委員</p>	<p>室がそういった工事を担当している。ただ大学は安い労働力の提供ではなく、研究開発がメインとなる。</p> <p>自分も東日本大震災のときに、自分のところの土蔵の壁がくずれ、三原先生に紹介された職人に見積りを取ったところ、外壁だけで 20,000,000 円だったので、結果的に諦めた経緯がある。</p> <p>それを踏まえて紹介して欲しいのであれば、紹介する。</p> <p>足袋型スカイランタンの件については、2 年連続で事業を行った。ただ費用面と、天候に左右される（雨だけでなく、強風でも中止になる）ので、2 年連続で開催はしたものの、3 年目はリスクが高く、他のイベントに移行した経緯がある。</p> <p>スカイランタンはゲスト的に非常に喜んでいただいた。こういった内容のものを探して、今後も開催出来ればと思う。</p>
<p>司会</p>	<p>他に御意見等はあるか。</p> <p style="text-align: center;">＜特になし＞</p> <p>5. 閉会</p> <p>それでは、以上をもって令和 7 年度第 1 回行田市日本遺産推進協議会を閉会とする。</p>